

9月15日(金)～30日(土)

高齢者に

長寿祝金を支給

市では、9月15日「老人の日」の行事として、長寿のお祝いと敬老の意を表し、長寿の節目を迎える方に祝金を支給します。



◆支給資格

9月15日現在において長寿の節目を迎えられる方(米寿・白寿)および満百歳以上の方で、本市に引き続き1年以上居住し、本市の住民基本台帳に記録されている方に支給します。

◆資格の喪失(9月14日まで)

- ①市外に転出したとき
- ②亡くなられたとき
- ③その他祝金の支給が適当でないと思えたとき

◆支給期間

9月15日(金)～30日(土)
(地区民生委員等が配付)

◆祝金の額

- ・米寿(満88歳の方)＝5千円
(昭和3年9月17日生～昭和4年9月16日生)
- ・白寿(満99歳の方)＝1万円
(大正6年9月17日生～大正7年9月16日生)
- ・満百歳以上の方＝2万円
(大正6年9月16日以前に生まれた方)



お問い合わせは、

高齢者支援課(2階)

TEL 201572、FAX 201610へ。

市長が行く

新市民会館について



茂原市長 田中豊彦

「老朽化した、耐震化もしていない市民会館をいつまで使っていくのか」という意見を何度となく耳にしてきました。

茂原市がつぶれるようなことになっては、元も子もありません。

市民会館ができるか？効率的に使うためには、どの程度の大きさが望ましいのか？これから様々な立場からいろいろな提案が出ることを大いに期待しています。ただし、まだ建設するかどうかはファイファイファイです。先に書いた給食センター建設以外にも、

財政にもっと余裕があれば、すぐにも取り掛かりたい課題の一つではありません。しかし、茂原市の財政を考えると、箱モノ建設については、逡巡せざるを得ませんでした。

しかし、今、そんな状況から、一歩前に踏み出そうとしています。新市民会館建設に向けて庁内での検討委員会を設け検討した中で、今回基本構想策定のためのプロポーザルを実施しました。数社が手を挙げ、その中で実績のある

（杉並公会堂、東京国際フォーラムなど）(株)シアターワーク ショップに依頼することとなりました。市民の意見を反映するためのワークショップは、全部で5回開くことになり、先日約30名を公募し、7月20日に第1回目のワーク ショップが開かれ、すでに3回実施したところです。いかに少ない予算で、より良い市

箱モノに関しては、厳しい予算の中、今までも学校や市民センターの耐震化、本納の複合施設の建設を行いました。また、これからは学校の給食センターの建設も控えています。今後少子化が進み、税収が減っていく中で、膨れ上がっていく医療費や介護費の問題もあります。どんなに立派な市民会館ができて、

（杉並公会堂、東京国際フォーラムなど）(株)シアターワーク ショップに依頼することとなりました。市民の意見を反映するためのワークショップは、全部で5回開くことになり、先日約30名を公募し、7月20日に第1回目のワーク ショップが開かれ、すでに3回実施したところです。いかに少ない予算で、より良い市

の更新事業が控えているため、多額の支出が想定されています。広域の事業ですが、茂原市は約60%負担しますので、大きな支出となります。これから茂原の未来を担う若者たちや、子どもたちへの負担を少なくするために、中止することも視野に入れて、検討していきたいと考えております。